

都市再生整備計画(第4回変更)

あすけこうらんけいちく
足助香嵐溪地区

あいちけん とよたし
愛知県 豊田市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | | |
|-------|---------------------|------|---------------------|-----|---------|----|-------|
| 都道府県名 | 愛知県 | 市町村名 | 豊田市 | 地区名 | 足助香嵐渓地区 | 面積 | 540ha |
| 計画期間 | 平成 21 年度 ~ 平成 25 年度 | 交付期間 | 平成 21 年度 ~ 平成 25 年度 | | | | |

| |
|---|
| 目標 |
| <p>大目標:『自然と歴史を受け継ぎ、暮らしの香り漂う生活空間の創造』</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標1:歴史・文化・自然・景観を活かした、古くて新しいまちづくり 目標2:安全・安心で快適な、生活感ある暮らしを感じるまちづくり 目標3:観光・商業と連携した、活力ある共働まちづくり |

| |
|--|
| 目標設定の根拠 |
| <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>足助地区は、愛知県の北東部の山間部に位置し、全国的に有名な紅葉の名勝「香嵐渓」と、『美しい日本の歴史的風土100選』に選ばれた町並みを有する、都市近郊型の農山村である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸時代には、三河湾で産出した塩などの生活物資を信州へ馬で運ぶ中馬街道(塩の道)の宿場町として栄えていた。しかし、明治時代末期に中央線の開通に伴い輸送手段が変わり、物流の変化とともに足助の位置づけは大きく変化し、東加茂郡の中心地として存続してきた。 足助川を挟んで2Km余り続く町並みは、平入りと妻入りの塗籠造りの町家や土蔵が連なる昔ながらの雰囲気を今も残り、周辺の山並みや足助川の清流と溶け合い、落ち着いた情感を醸し出している。 紅葉で有名な「香嵐渓」には、観光シーズンに多くの来訪者が訪れるが、隣接する歴史的町並みまで足をのばす人は少なく、まちなかの商店街は閑散としている。 昭和50年に発足した「足助の町並みを守る会」の活動は、第1回全国町並みゼミの足助開催を機に、町並み保存に対する住民の気運を一気に高め、町屋の新・増築に当たっては町並み景観に配慮する意識を浸透させた。 旧足助町時代には、「街並み環境整備事業」を導入し(平成5年度)、「足助まちづくりの会」が主体となり、「足助の街づくりに関する要綱」、「足助のまちづくり規範」を作成し、町屋等の修景補助を行ってきたが、平成15年度で補助事業は終了しており、以後老朽化が進む町屋を現代風の家屋に建替える住民もあり、連担した町並みの風景が壊れることが懸念されている。 当地区での住民活動は活発で、周年型の観光地を目指し、紅葉シーズン以外でも楽しんで来街して頂くため、春には「中馬のおひなさん」(雛人形を道路に向けて飾る)や夏至や盆に「たんころりん」(竹を編んだ灯籠を道沿いに並べる)などのイベントを企画している。これらの情報はインターネットで発信するとともに、地元新聞等でも取り上げられ広く地域に知られている。 当地区内にはまとまった広さの公園や広場もなく、また下水道などインフラ整備の遅れや安全な歩行者・車両動線も少なく、生活環境の改善が求められている。 平成18年度に実施した住民アンケートによると、町並みの景観に対する満足度は37.1%と低く、景観の維持管理に関して懸念が表れている。反面、歴史的な町並みを保存していきたいという意見が50%を超え、町並みに対する意識は高い。 <p>また、生活環境については、「排水溝の臭い」、「川の水環境」、「広場・公園の状況」の全ての項目で不満を感じており、70%以上が整備の必要性を唱えている。</p> <p>その他、交通については60%以上が歩道整備の必要性を訴え、防災については、川へ降りる消防用道路及び防火水槽の整備を望む声が全体の70%以上であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新市発足に伴い、市と市民の共働による取組みから、当地区ではまちづくり推進協議会・まちづくり部会・伝建部会を立ち上げ、ワークショップ開催等による地域住民の意見を反映させたまちづくり計画を進めている。都市再生整備計画策定に当たっては、 |

| |
|--|
| 課題 |
| <p>隣接する景勝地「香嵐渓」の賑わいと反し、年々減少する定住人口とそれに伴い衰退の一途を辿る足助の中心部。空き家や空き店舗が目立ち、かつて賑わいのあった街道沿いの雰囲気や当該地特有の街なみが喪失しつつあることが最大の課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 足助地区の人口は、昭和53年の3,094人が平成19年には1,901人と38.5%減少し、また、高齢化率は平成2年の19.4%が平成19年度には35.8%と20%近く上昇し、人口減少・高齢化率ともに進行しており、地域コミュニティの衰退による観光機能や景観維持の限界が近づいている。 足助地区への平成7年度の観光客数は205万人、その後200万人台を維持してきたが、平成19年度は169万人と年々減少傾向に転じており、今後、周年型の観光地としての魅力付けが必要である。 町家が連担したかつての風景が壊れることが懸念されるなか、町並みとして面的に整備を行うことで「足助らしさ」を次代へ受け継ぎ、住んでいる人が誇りをもてる町へと再生する必要がある。 公園や広場の不足、下水道などインフラ整備が遅れ、また安全な歩行者・車両動線が確保されていないことから、これらを整備することによって生活環境を改善する必要がある。 香嵐渓を訪れる観光客が歴史的な町並みへと足を延ばす人が少ないことから、香嵐渓から町並みへ来街者の誘導を積極的に行う事で一層の地域振興を図る必要がある。 |

| |
|--|
| 将来ビジョン(中長期) |
| <p>平成17年4月に豊田市と足助町ほか5町村が合併し、総人口は約41万人、総面積は918.47km²、県下最大の面積を有する市となった(合併当時)。平成20年3月に第7次豊田市総合計画(計画期間:H20~29)が策定され、当計画では本市の将来都市像を「人が輝き環境にやさしく躍進するまち・とよた」と設定している。また、足助支所周辺を「複合地域核」として位置付け、観光振興、都市と農山村の共生、定住など山村振興対策の中核を担うための機能配置を推進するとともに、過疎山村地域における医療サービスや複合的行政サービス機能の維持確保を図ることを目的とし、重点戦略プログラム(前期実践計画期間内において特に重点的・戦略的に取り組む施策)のひとつである「農山村地域の再生・活性化」の具体的な取り組みとして、足助地区まちづくり事業などが計画されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年3月に策定された「とよたおいでんプラン(豊田市観光交流基本計画)」の重点プロジェクトには、香嵐渓一帯の魅力向上事業として①香嵐渓の保全、②香嵐渓と歴史的な町並み景観形成事業、③アメニティ向上事業の3つを提案している。また、地区別の観光交流振興計画においては、足助地区の将来像を「古くて新しい、地域資源がきらり輝く紅葉(もみじ)の山里 あすけ」と位置づけ、新緑と紅葉、山桜の彩り映える香嵐渓、四季折々の風物詩とロマンの香り漂う中馬街道のまち、及び農ある暮らしと歴史や自然を満喫できるのどかな美しい山里、を目標としている。 平成20年3月に策定された豊田市景観基本計画では、本計画における足助地区の位置づけは、歴史的景観を有する地区として重点的に施策を展開すべき最も重要な地区である「景観重点地区」に指定を予定している。 |

| 目標を定量化する指標 | | | | | | |
|-------------------|-----|-------------------------|---|--------|--------|------------------|
| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 目標値 | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | |
| 1.街なみの満足度 | % | 地域住民に対する満足度調査(アンケートによる) | 住民の満足度(「満足」と「やや満足」の割合)の増加を目指す。 | 37.2 | 平成18年度 | 51.5 平成25年度 |
| 2.旧足助町中心市街地内の歩行者数 | 人 | 休日の歩行者数(断面通行量調査による) | 街並み空間整備、誘導手法により歩行者数の増加を目指す。 (足助郵便局前における観光シーズン中の9~17時両方向断面通行量合) | 970 | 平成19年度 | 1,358 平成25年度 |
| 3.歴史的町並みの観光客数 | 人/年 | 足助中馬館の入館数(歴史的町並み地区内) | 減少傾向である歴史的町並みへの観光客数に歯止めをかけ、現状維持を目指す。 | 30,057 | 平成18年度 | 30,057 平成25年度 |

都市再生整備計画の整備方針等

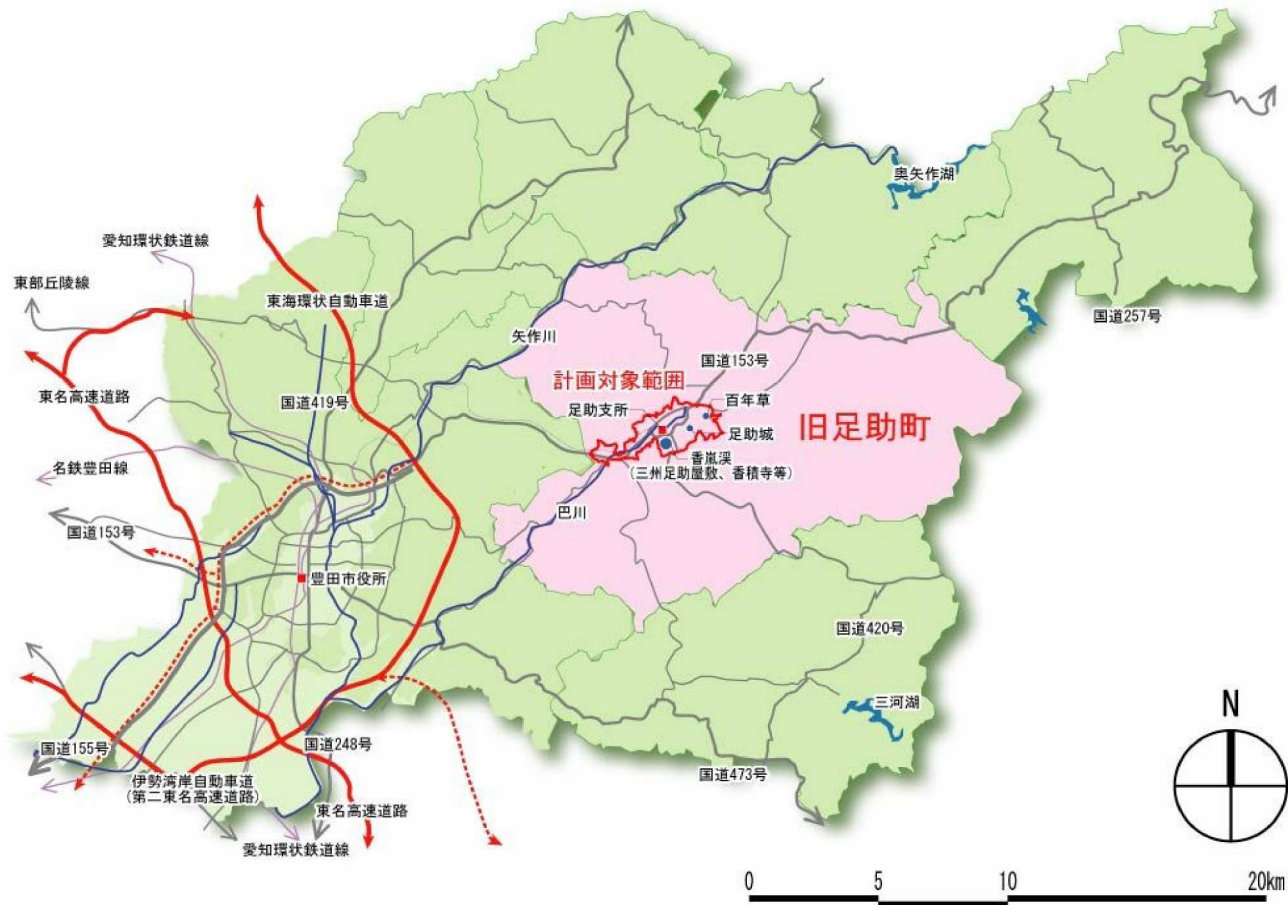
| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|---|---|
| <p>整備方針1:【地域資源(歴史的資産・自然・景観)の保存・活用】</p> <p>山並みや河川といった自然、歴史的な町並みや景観、祭りなどの伝統文化を次世代に受け継ぐと共に、全国的に有名な香嵐渓等の地域資源を活かした足跡らしい景観に配慮したまちづくりを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・道路(基幹/電線共同溝整備) ・高質空間形成施設(基幹/緑化施設等、電線類地下埋設施設) ・既存建造物活用事業(基幹/歴史的建造物保存活用事業) ・地域創造支援事業(提案/香嵐渓整備事業、山並景観整備事業、足助城整備事業、まちなみ整備事業、構造物修景整備) ・事業活用調査(提案/重要伝統的建造物群保存地区指定調査、景観計画・ガイドライン策定、まちづくり事業活用調査) |
| <p>整備方針2:【暮らし環境整備】</p> <p>大人から子供まで、安全・安心・快適に暮らすために必要な住環境整備を進めることにより、生活感ある暮らしを感じる生きた「まち」を維持します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(基幹/駐車場整備事業、緑地・広場) ・高質空間形成施設(基幹/緑化施設等) ・地域創造支援事業(提案/地域活性化支援事業) ・下水道事業(関連/特定環境保全公共下水道事業) ・防火水槽整備事業(関連/防火水槽整備) ・道路整備(関連/市道整備) ・橋梁耐震事業(関連/橋梁耐震補強) |
| <p>整備方針3:【活力ある共働まちづくり】</p> <p>観光交流や商業振興と連携した活力あるまちづくりを進めると共に、足助を育んできた歴史・自然と繋がりあう、賑わいある空間づくりを共働で進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(基幹/情報板、緑地・広場) ・既存建造物活用事業(基幹/歴史的建造物保存活用事業) ・地域創造支援事業(提案/公衆トイレ整備、まちづくり関連シンポジウム開催) ・まちづくり活動推進事業(提案/まちづくり活動支援、まちづくりPR活動事業) ・空屋・空店舗活用事業(関連/空屋・空店舗整備) ・立体駐車場整備事業(関連/中央駐車場整備) |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○足助の景観保全、良好な景観形成及び歴史的まちなみの保全活用を図るための方策について <ul style="list-style-type: none"> ・重要伝統的建造物群保存地区の指定を予定している。 ・景観重点地区の指定を予定している。 ・まちづくりの拠点となる歴史建造物(鈴木邸等)を調査、研究し保存活用を目指していく。 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 <ul style="list-style-type: none"> まちづくり団体による、まちづくり活動(たんころりん、中馬のおひなさん、花かざり等)を継続すると共に、支所を窓口とする行政と住民のパートナーシップを継続し、まちづくり活動を行っていく。 ○交付期間中の計画の管理について <ul style="list-style-type: none"> 交付期間中において各事業を円滑に進め、目標に向けた確実な効果を上げるために、地域と行政が共働して準備や整備の進め方の改善などを行う協議会を実施するとともに、中間評価・モニタリングを実施し事業の進捗状況や成果を把握し、事業の円滑な執行管理を行う。 ○大学との連携について <ul style="list-style-type: none"> 東京大学西村教授をまちづくり事業アドバイザーとして助言等を受けるとともに、学生とも共同で調査研究・社会実験を行い、官民学一体となったまちづくりを行っていく。 | |

都市再生整備計画の区域

| | | |
|-----------------|----------------------------|-------------------------------|
| 足助香嵐渓地区(愛知県豊田市) | 面積 540ha (事業コア100ha) | 区域 足助町、近岡町、籠林町、岩神町、井ノ口町の一部 |
|-----------------|----------------------------|-------------------------------|

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

豊田市全域



都市再生整備計画の区域

| | | |
|-----------------|----------------------------|-------------------------------|
| 足助香嵐渓地区(愛知県豊田市) | 面積 540ha (事業コア100ha) | 区域 足助町、近岡町、籠林町、岩神町、井ノ口町の一部 |
|-----------------|----------------------------|-------------------------------|

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

